

すい
た

V

すまいる

吹田市ボランティア連絡会ホームページアドレス
https://suitashiboraren26.jimdofree.com/

吹田市ボランティア連絡会

SUITAすまいる

吹田市ボランティア連絡会ホームページアドレス

https://suitashiboraren26.jimdofree.com/

第132号

編集・発行

吹田市社会福祉協議会ボランティアセンター
吹田市ボランティア連絡会

〒564-0072 吹田市出口町19番2号
市立総合福祉会館内

TEL (06) 6339-1210



吹田市ボランティア連絡会 親睦交流会

1月13日(金)
メイシアター
レセプションホール

3年ぶりに開催されました。吹田市社会福祉協議会(以下吹社協)会長櫻井和子氏による祝辞の後、「つくしんぼ」大平晃氏のユーモアある手品の演技で爆笑から始まりました。

続いてのぞみ福祉会理事下郡竜太郎氏の「コロナ禍でのボランティアへの対応や工夫と今後について」講演。積極的にリモートを活用したりコロナ禍であってもボランティア(以下V)が来てくれる環境を整備(きづな)き(生活介護)の音楽部や芸術部の活動にVが参加してくれることが利用者のモチベーションに繋がっている。精神障がいのある方のリカバリ、地域福祉の増進にはVの存在が必要と話されました。

その後関西大学文化会落語大学の公演で笑いが起こり楽しい時間を過ごしました。

短い時間でしたが各グループと話し合い、色々問題の多い世の中でV活動が重要であると再確認、多くの人に元氣をお届けしたいと思いました。

エコおもちゃ作り市民塾

藤森 重治

行事案内

★吹田市社会福祉協議会ボランティアセンター祭り

日時 3月12日(日)午後1時から午後3時30分

場所 吹田市立総合福祉会館

★ボランティア入門講座

ボランティア活動の基本的な知識や心がまえを知り「はじめての歩」を踏み出してみませんか？すでにボランティア活動をしている方も大歓迎です

日時 3月20日(月)午前10時から正午

行先 吹田市立総合福祉会館

定員 先着20人 参加費 無料

★歌体操ボランティア養成講座(5回講座)

歌体操を通して楽しくボランティア活動を始めてみませんか。

日時 4月4日(火)、11日(火)、18日(火)、26日(水) 5月2日(火)午後1時30分～午後3時30分

場所 吹田市立総合福祉会館

受付 3月1日(水)～ 定員 先着20人 参加費 無料

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては変更もしくは開催中止となる場合があります。ご了承ください。

お知らせ

●令和5年度ボランティア保険加入受付開始

安心してボランティア活動をしていただくためのボランティア保険の申込みが3月15日より始まります。

●福祉ボランティアグループに助成金交付

福祉ボランティア基金の運用益で助成します。

対象 センター登録して1年以上経過し継続的に活動している福祉ボランティアグループ。

申込 吹田市社会福祉協議会窓口にて令和5年4月3日(月)から14日(金)で受付いたします。

●お問合せ・申込み

吹田市社会福祉協議会ボランティアセンター

TEL 06-6339-1210 FAX 06-6170-5800(土日祝除く)

第8回災害支援
ネットワーク

災害時、私たちが出来ること

様々な団体が情報を交換し
共助の力を促進すべく定期的に
開催されています。

第1部、SIFA公益財団
法人吹田市国際交流協会が
災害時に情報の届きにくい
外国人に多言語で情報を伝
える、サポートする取り組み
について発表。続いて大阪よ
どがわ市民生活協同組合が
大阪北部地震での活動と今
後災害発生時にできること
として食材提供、車両提供、
センター運営にも協力でき
ると話されました。

第2部 吹田市危機管理室に
よる災害時を想定したクロス
ロードゲーム(二者択一ゲーム)
を体験。選んだ答えをグルー
プ内で発表
し、意見
を尊重し
合うなど
拍手で盛
り上がり
ました。

編集後記

私は点訳ボランティアをしています。最初は点字盤を使って一字一字を手打ちしていましたが、現在はパソコンを使って多くの方の要望に応えられるようになりました。

視覚障がいの人々との関わりで多くのことを学び、本との出会いもありました。

これからもより正確に、より早く情報を伝えられるように活動を続けていきたいと思っています。

西野 万利子

受賞おめでとう
ごぞいます

吹田市社会福祉協議会
福祉大会ボランティア感謝状

滝川 ちどり
(点訳グループ「あい」)

石川 智世子
(ボランティアグループ「花から」)

永江 道子
(SA吹田おもちゃ作り市民塾)

外園 礼子
(吹田精神保健福祉ボランティアグループ「アムール」)

亀井 順子
(音訳グループ「とも」)

(順不同敬称略)

赤い羽根共同
募金街頭募金

今年度は阪急南千里駅周辺、JR吹田駅周辺で街頭募金活動を行いました。どちらも商業施設が隣接していることから電車・バスを利用される人々、お買い物帰りの人々に募金の協力を呼び掛けることが出来ました。

親子で募金してくださると笑顔が倍になります。背広の男性が募金をした後振り返りざまに、「何に使われるの？」と聞

かれ「地域の高齢者や子どもさんの福祉に」と、とっさに返答。「災害時の被災地支援活動にも役立てられます」までを市民の皆さんにもっともお伝えできればと思いました。たくさんの方の善意のご寄付をありがとうございました。

コミュニティサロン

2か所で開催しています。

☆夢つながり未来館 2階会議室
毎月第1木曜日
午後2時から4時まで

☆総合福祉会館 2階ボランティア室
毎月第2・4火曜日
午後1時から3時まで
切手やプルタブの整理を行っています!

大阪府市町村
ボランティア
連絡会

北摂ブロック交流会

メイシアターレセプションホール

12月7日

今年度は吹田市で開催され、7市2町のボランティア連絡会（以下V連）の代表や社会福祉協議会（以下社協）の49名が集まりました。

まず、吹田市V連井本会長の挨拶に続き、吹社協櫻井会長より私たちの活動を評価くださるお言葉を頂きました。

京都光華女子大学教授石井祐理子氏の『Z世代との協働で活動の輪をひろげよう！』講演後、今後の活動を『Z世代』の力を借りながら実施していくこ



▲グループワークの発表



▲他市との意見交換

とについて、皆さんで議論しました。『Z世代』とは、生まれながらにしてデジタルネイティブである初の世代であり、1990年代中盤から2010年代序盤までに生まれた世代のことです。

その中で印象的だったのは、Z世代も勿論重要なけれど「まずは健康で活動的な高齢者をVの道へ」という意見に多くの方が大きく頷いていたことです。また「大学にV活動の話をしに行くことがあるが、すぐにV活動に結び付くかはわからない」といった意見もあり、それについて石井先生が「夏期講習等で実際に活動できるV団体を紹介していきたい。また大

学生は4年間なのでV活動の継続は難しいかもしれないが、

ただ体験だけでもその学生にとっては重要な経験になるので、ぜひ学生のVを受け入れてほしい」と言われていました。

Z世代との実際の活動に關して「パソコンを教わった」に参加しやすくなるためにチラシにQRコードを採用した「地震の時は大学生が多くVに参加してくれて、とても頼もしかった」などの意見がありました。講演会の最後にZ世代と協働する（学び合う）ことで、私たちが元気になる！という提言があり、受け入れる側の私たちもカチコチの頭を柔らかくして対応していくことやZOOMなどの新しい手法を手に入れるような心構えが大切だと知りました。

最後は、Z世代代表として関西大学文化会落語大学の学生による落語が披露され、大きな笑いが起こっていました。



▲爆笑の「須磨の浦風」

大阪府市町村ボランティア連絡会
テーマ別研修会

「広報のイロハを徹底解説！」

会場参加とZOOMのハイブリッドで開催されました。講師は社会福祉士で元社協職員から言葉・文章だけでなく写真・映像を通して福祉を伝える

▲しっかりメモ取り役立てます

第39回みんなの健康展に参加して

メイシアター

9月10・11日(土・日)

私は使用済み切手を利用した「オリジナルキーホルダー」手作りコーナーを担当。家族連れの4才くらいの男の子が、作ったキーホルダーを手になににこにこ「どうさんとかまさんだよ」と両面を見せてく



▲作品作りに集中

フォトグラファーに転身された木下星集（すばる）氏。広報のポイント、なぜ広報するのか、誰に向けて発信するのか、読み手の心を動かしているか、見出しで情報を完結していないか。「SUITAすまいる」はVの楽しさを伝え仲間の輪を大きくしたいという目標を掲げて発信しています。魅せる情報紙にするため写真選び・言葉選びに工夫が必要だと思いました。

れました。「かわいいのが出来たね」と声をかけ、共に嬉しい笑顔になりました。

この日までに沢山の珍しい使用済み切手を収集されたことに驚きました。

午後は、講演「コロナとフレイル」大阪大学医学部附属病院教授竹屋泰先生の楽しく分かり易い話を聞き、今日からバランストレーニングのつま先立ち、つま先上げをすぐ始めて、フレイル予防だ!!と強く思っ

て帰宅しました。

初めて健康展での活動に参加し、充実した一日を終えて感謝でした。

ボランティアグループ
「花から」 斎藤 洋子

管外バスツアー

10/12

水

劇場型水族館「atoa」

吹社協に協力していただいて神戸ポートミュージアム内の劇場型水族館「atoa」の見学と「TOOTHMART」でランチを楽しんできました。港に面した見上げるような4階建ての

1階がフードホールで2階から4階が水族館でした。水族館入館前にフードホールで食事をしました。広いホールに9カ所のコーナー（牧場直送の神戸牛料理、クラフトチーズ工房併設の



▲日本最大級の球体水槽

パスタ、神戸で長年愛された洋食屋の神戸牛の煮込みハンバーグなどの料理を各自で選んで神戸ならではの食を堪能していよいよ劇場型の水族館へ。

長いエスカレーターに乗って入場するとオープニングは暗い室内に万華鏡の中にあるような光の世界が広がっていました。円型

の水槽は360度周りをまわって見ることが出来るので目線の高さで観察ができ、深海にいるチンアナゴは砂の中から出たり揺



でゆったり歩いたり、坐ったり、スロープを登って水を飲みに行ったり、4頭いたうちの1頭のワンマンショーでした。言葉かけをしながら一緒に歩き、楽しい時間を過ごしました。

フィナーレの舞台は最上階、神戸港をバックに、空と太陽の光を浴びて餌をもらって水に飛び込み嬉しそうに泳いでいるペンギンの可愛い姿に思わず拍手!!

想像の域を超えた劇場、今まで経験したことのない水と生きものたちが主役の舞台でした。機会があればまた、あの子たちに会いに行きたい、違った演技で楽しませてくれるのではと思

いながら帰路につきました。

音訳グループ「とも」
亀井 順子



地域共生
フォーラム

メイシアター中ホール

11/22

火

第1部「ひとりぼっちをつくらなために」と題した大阪教育大学特任教授新崎国広氏による基調講演では、地域共生社会の実現に向けて＊お節介力を高めることが必要と話されました。

第2部では「必要とされる居場所について」4名のパネリストによる活動発表でした。

フリースクールNPO法人ここ理事長三科氏、青少年活動サポータープラザ主査尾崎氏、西山田地区の井戸端倶楽部の南城氏、吹社協CSW中野氏が活動発表され、いずれも生きづらさなどを抱えている子ども、高齢者、8050問

最後に新崎氏は、地域共生社会実現には話し上手に聞き上手、助け上手に助けられ上手、雑談力が重要と締め括られました。

ボラ連にはお節介が沢山、日々必要とされる喜びを感じられ幸せだと思いました。

＊お節介とは「節度ある介（な）かだち」他人の困りごとを放っておけない人＝ボランティア精神あふれる人。